

みずほCustomer Desk Report 2025/09/03号(As of 2025/09/02)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.34
TKY 9:00AM	147.09	1.1715	172.44	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	148.94	1.1717	173.35	1.3539	0.6558
SYD-NY Low	147.06	1.1613	172.39	1.3547	0.6558
NY 5:00 PM	148.38	1.1642	172.72	1.3340	0.6483
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	45,295.81	▲ 249.07	日本2年債	0.8600%	▲ 0.0200%
NASDAQ	21,279.63	▲ 175.92	日本10年債	1.6000%	▲ 0.0200%
S&P	6,415.54	▲ 44.72	米国2年債	3.6402%	0.0215%
日経平均	42,310.49	121.70	米国5年債	3.7253%	0.0269%
TOPIX	3,081.88	18.69	米国10年債	4.2644%	0.0331%
シカゴ日経先物	42,350.00	100.00	独10年債	2.7895%	0.0410%
ロンドンFT	9,116.69	▲ 79.65	英10年債	4.7995%	0.0475%
DAX	23,487.33	▲ 550.00	豪10年債	4.3640%	0.0390%
ハンセン指数	25,496.55	▲ 120.87	USDJPY 1M Vol	9.90%	▲ 0.01%
上海総合	3,858.13	▲ 17.40	USDJPY 3M Vol	9.74%	0.01%
NY金	3,592.20	76.10	USDJPY 6M Vol	9.68%	0.01%
WTI	66.05	▲ 0.49	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.09%	Yen Call Over
CRB指数	304.38	2.03	EURJPY 3M Vol	8.02%	▲ 0.12%
ドルインデックス	98.40	0.63	EURJPY 6M Vol	8.40%	▲ 0.15%

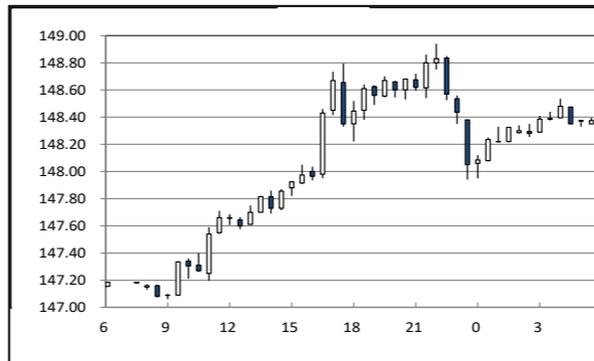
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月2日	18:00	欧 CPI速報値(前月比/前年比)・速報	8月 0.2%/2.1%	0.1%/2.1%
	22:45	米 製造業PMI・確報	8月 53	53.3
	23:00	米 ISM製造業景況指数	8月 48.7	49
	23:00	米 建設支出(前月比)	7月 -0.1%	-0.1%

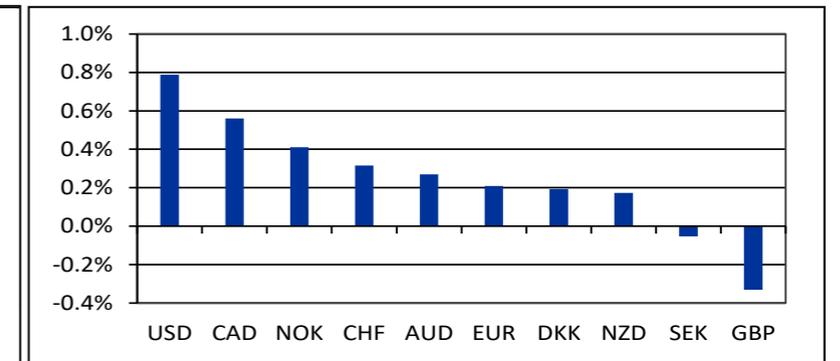
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月3日	10:30	豪 GDP(前年比)	2Q 1.6%	1.3%
	16:55	独 サービス業/コンポジットPMI・確報	8月 50.1/50.9	50.1/50.9
	17:00	欧 サービス業/コンポジットPMI・確報	8月 50.7/51.1	50.7/51.1
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	7月 0.3%/0.1%	0.8%/0.6%
	23:00	米 製造業受注/除輸送(前月比)	7月 -1.3%/0.6%	-4.8%/0.4%
	23:00	米 耐久財受注/除輸送(前月比)・確報	7月 -2.8%/1.1%	-2.8%/1.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.20-148.90	1.1590-1.17600	171.80-173.30

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、東京からロンドン時間にかけて円安が急速に進行した。注目された氷見野日銀副総裁の講演では経済・物価情勢の改善に応じて利上げを継続していくスタンスが示された。一方で関税影響や足許の物価上昇を慎重に見極めたい姿勢が示されるなど、慎重姿勢もあってか円安で反応。その後の自民党森山幹事長の辞意表明など日本の政局不安への懸念も円安を後押しした。政局不透明感は引き続き円売り圧力となるが、週末の米雇用統計を控える中、一層の円安余地は大きくないとみる。昨日は米8月ISM製造業景況指数の軟調な結果もあり円安の勢いも一服。本日もJOLT求人件数など注目指標が並ぶ中、東京朝方の実需買いをこなせば、短期筋の利食いや上値水準を見極めていた輸出企業のドル売も入りやすいと思われ、ドル円は徐々に水準を切り下げる展開を予想する。

東京	東京時間のドル円は147.09レベルでオープン。仲値にかけては売り買い交錯で揉み合うも、その後行われた道東地域金融経済懇談会における氷見野日銀副総裁の講演内容が想定よりもハ派的だったとの見方から円売り優勢の展開となり、148.05まで上昇。結局、147.98レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は147.98レベルでオープン。日銀の氷見野副総裁の講演内容や、自民党森山氏の幹事長職の辞任表明による政治的不透明感が材料視され、ドル円は148.79まで上昇し、その後148.62レベルでニューヨークへ渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、朝方に米金利の上昇に伴い148.94まで上昇する場面もあったが、続いて発表された米8月ISM製造業景況指数が予想を下回った事を受け、147.94まで反落。午後は米金利が下げ幅を縮小する動きを背景に148.40付近まで戻し、その後148.38レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1613まで値を下げる場面もあったが、その後低調な米経済指標を受けたドル売りが支えとなり、1.1682まで反発。午後は再度伸び悩み、1.1650付近を中心とした推移が続き、その後1.1642レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。